

平成12年度 関西大学 国内研究員

研究助成課 1 - 1

学部	人数枠	資格	氏名	現在の担当授業科目	期間	主たる研究先	研究目的
文	全学で 3名以内	助教授	赤尾勝己	教育学基礎研究 卒業演習 教育学演習(一) 生涯学習概論(一) 生涯学習概論(二) 社会教育計画(二) M教育調査実習実習	12. 4. 1 ~ 13. 3.31	1. 研究室 2. 自宅 3. 国立教育研究所	1. これまでの生涯学習に関する研究を書物にまとめる必要が生じてきた。 2. 国内の研究者と、より一層の交流をすることによって生涯学習研究の新しい課題と研究テーマを発掘したい。 3. 本学以外の研究機関に所蔵されている内外の文献資料の収集。
社		教授	藤岡伸一郎	基礎研究 ジャーナリズム論 マスコミ制作実習 卒業研究 マス・コミュニケーション総論	12. 4. 1 ~ 13. 3.31	1. 総合ジャーナリズム研究所 2. 放送文化基金 3. 日本新聞教育文化財団	主たる研究テーマは「地方分権とジャーナリズム」「地方の時代」が提唱されてから20年余り、いま、時代は新たな「地方分権」の世紀へと向かいつつある。 すでに数年来、政府は地方分権推進委員会を設置し5次に亘る勧告を提出、「地方分権法」案も国会審議されている。各地方自治体も分権時代の自立的な自治のあり方を探るなか、地方に基盤を置く新聞・放送を中心としたマス・メディアも新たな構造転換あるいはジャーナリズム機能の見直しを迫られている。 こうした時代転換期に、日本の各地方自治体や地域住民の「分権」への具体的対応、意識変化の所在、そして地方メディア、地域ジャーナリズムの果たすべき役割を実証的に捉えておくため、国内地方各地にて長期に亘る取材、調査および集中的な資料収集、ヒヤリング等の必要がある。

*年齢及び在職年数は、平成12年4月1日現在である。